

「石材再生友の会」会報誌(ケイ・アンド・エス)
萌黄 (もえぎ)
通信

2006年 9月号 NO.33

<http://www.e-kands.jp>

みなさんの元氣ですか？

9月に入ると、なんだか急に朝夕が冷えて、秋を感じるようになってきました。季節の変わり目を上手に乗り切りましょう！

*「萌黄通信」は写真入になりました。

メール配信ご希望の方は、kandsstg@jt4.so-net.ne.jp

までお知らせ下さい

*社長ブログ「石材メンテナンスの旅」はじめました。

K&Sホームページ<http://www.e-kands.jp>

山梨県のイベント
 「第53回ぶどう祭り」
 10月1日は勝沼恒例のぶどう祭りが中央公園で開催されます。ぶどうやワインの無料配布や各種イベントがあり、祭り最大の見ものは、柏尾山での大鳥居焼きです。
 開催時間 10時～20時半

萌黄通信

発行元 有限会社ケイ・アンド・エス

本社山梨 電話 0556-22-3237 Fax 0556-22-3236

東京(営) 電話 03-3431-0387

メール kandsstg@jt4.so-net.ne.jp

「イタリア紀行」⑧ 「街中の石畳」ピサ周辺

歴史築の街中を歩いていると、道路はほとんどが石畳です。

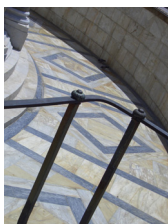
やはり、大理石が豊富な産地のため、いたるところで、大理石の通路、道路が多いですね。



黄色やオレンジ系の大理石をランダムに並べ

られているのですが、明るい感じの通路に仕上がっています。

こんなところにもセンスが光っています。



斜塔周辺の石畳です。メリハリがあって、歩き

易い道路に仕上がっています。これらは、石厚もかなりある

ため、床石では、頻りに起こる諸問題(濡れしみ・白華)が全くないのが、すごいところです。

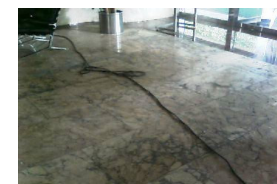


G684が白くなったので、ウェット

コートで、復元中

写真の現場の場合、引渡し洗浄時に色抜けしたのでは、なく、上に張ったタイルの洗浄時に、床面に垂れて、全体的に白くなってしまったようです。
 最近、酸性雨も降る事ですし、G684は、外部使用禁止にしないと、今後トラブルが、続出して来るでしょう。

「注意して下さいね 取り扱いの難しい石 G684」
 最近立て続けに、同じ御影石の手直しに入りました。石種はG684で、最近の建物にかなりの割合で使用されてきています。
 しかし、この石、御影石の部類なのですが、取り扱いには、非常に厄介です。引渡し清掃時、G684の本磨きの場合、かなりの弱酸でも、ツヤぼけを起こす事は、以前より言われていたことでしたが、バーナー仕上げの場合でも、洗浄時に酸の希釈を濃い目にするとか、繰り返し洗浄をすると、かなり黒色が抜けて、白っぽくなってしまおうと言うクレームが多発しています。黒系の御影石の場合、中国産と知ったら、品番を確認する事が大切です。もし、G684の場合、水洗いでやめておくか、はじめに、事情を説明してから洗浄に入らないと、トラブルの原因になります。



「大理石の白華現象」
 何度か大理石の白華の特集は組んだことはありませんが、今回はかなりの期間放置したままで、白華からモルタルのアクまでも吸上げ、変色してしまった現場からの報告です。
 大理石の敷いてあるところが、地下の場合、建物内の床高さが、外部と変わらない場合、周辺に景観池や、貯水池がある場合など、水が絡むところでは、大理石から白華の粉を吹く現象が起こってきます。一度出てしまうと、水を経たない限り再発してしまうので厄介です。左上の写真は、5年前に一度白華の除去で軽い研磨をしたきり、そのまま放置した結果、床面全体にアクのシミ上げをともなって、白華現象化してしまい、表層剥離も始まっています。
 こうなると、研磨施工とシミ抜き湿布(左中写真)で復元していくしか方法はありません。今回の現場の場合、もし本施工になって、光沢が復元しても、今後は、定期的に洗浄と白華除去を兼ねて、白華防止用コート剤を繰り返していく必要があります。

「今月の萌黄さん」
 私の娘「萌黄(もえぎ)」は中学1年になって初めての学園祭に出場です。クラブが語学部に入ったようです。
 語学部は英語劇をするようで、「シンデレラ」をやりました。1年生でも役をもらえたらしく、舞踏会で王子さまへ求婚する町娘の役です。今回は、王子様をゲットできませんでしたが、10年先には、シンデレラのような日が来るかもと想像してしまいました。